道歯技広報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2023 Summer No.28

■巻頭言　「time can't wait」
■「社員総会」報告
■「第 164 回北海道歯科技工学術研修会 On Stage Report　前編」
　札幌歯科技工士会　三浦　知也
■「地域組織会長に聞く」　空知歯科技工士会　会長　上野　達治
■「令和４年度　優秀学生表彰」
■「先輩歯科技工士に聞く」　空知歯科技工士会　戸島　和之
■「新役員紹介」
■「歯科技工における手話表現・見える言葉」　札幌歯科技工士会　工藤　三重子
■お知らせ　新型コロナウイルス感染症について／メーリングリスト登録について／
　Twitter 開設について / 学術論文募集について
■理事会報告
■新入会員紹介／編集後記
■活動・会員特典の紹介

ＰＣ用ホームページ　https://www.dougi.or.jp/top.html
携帯用ホームページ　https://www.dougi.or.jp/keitai.html

表紙写真・巻頭言写真・地域組織会長に聞く写真 / 札幌歯科技工士会　海津雅隆

time can't wait

万人に平等なのは時間です。時間だけは何人も自由に操る事は出来ない。私に与えられた生涯の時間はあとどれくらいあるのだろうか？

私が日本人の平均寿命の81歳まで生きるとして、残りの年数を週に換算すると833週間。１週間単位で考えると意外と短く感じる。そうなると身辺整理や家族、親戚のことも心配だ。手付かずの墓じまいと実家の空き家問題にも着手しなければいけないな。かかる平均費用はお墓関連は50万円と実家を更地にするのに300万円。81歳がラストであるなら、80歳と11ヶ月まで働くために健康体でなくてはいけないなぁ。筋トレと軽い有酸素運動とサウナの回数も増やして毎日仕事すれば何とか出来そうだ。

でもその生活って自分が考えている理想な人生なのかな。何か違う気がしてきたので歴史上の偉人はどのように解いているのか調べてみる。

ローマの皇帝、マルクス・アウレリウスは、幸せに生きる方法として「全ての行為が生の最後の行為のように行う。」「人格の完全とは毎日を最後のように過ごし、激することなく、無気力にもならず、偽善をしないこと。」と語られている。つまり今日が最後の日と思って自堕落に生きるのでなく、丁寧に生きなさいという事か。時間はあっという間に過ぎてしまうから、精一杯、自分がやりたい事をしなさいと言っているのか。諦めていたけど一度は行ってみたい場所や体験も目標に再設定してみよう。

しかし、夢を叶える為にはお金が必要となり、その為に利益を上げないといけないから、人生のプランを見直すことが必要と思えてきた。プランニングに必要な問題仮説とそれに対応する解決仮説の優先順位を決定して実行する。仮説が正しければ成果は期待できそうなものの、多くの変数があるのが心配かな。疲れ知らずで、いっさい病気も怪我もしないで360日を健康体で仕事するという条件が少しだけ気がかり。先ほどまで個人事業主の歯科技工士の為の政府労災保険のチラシを見ていた影響かもしれない。「病は気から」という事で、病気になっている場合ではないので気丈に振舞わなくてはと自身を鼓舞する。

それにしても最近は時間の経過が早く感じる。そこでアインシュタイン先生の時間の理論を調べてみる。そうしたところ、名言が掲載されていて、偉人の言葉にハッとさせられる。特に以下の二つが共感したのでご紹介する。

『同じことを繰り返しながら違う結果を望む事、それは狂気という』

『誰かのために生きてこそ、人生には価値がある』

自分でコントロールできるのは常に現在しかない。だから未来を憂いたり過去を悲観する事に、今を使うのではなくこの瞬間を大事に生きようと思う。

第 10 回社員総会報告

公益社団法人北海道歯科技工士会　専務理事　廣田　高志

５月20日（土）に北海道歯科技工士会館において、第10回社員総会が開催された。

今年度の社員総会は新型コロナウイルスが第５類の区分になったことを受けて感染防止対策を考慮しながら対面形式で行われた。

昨年に引き続き、議長に札幌歯科技工士会の高山宏一氏、副議長に十勝歯科技工士会の五十嵐秀嗣氏を重任され、議長団の挨拶があった。副議長より氏名点呼がされ、出席代議員26名・委任状提出代議員２名・欠席代議員４名（全代議員総数32名）、定款19条にある社員総会は成立すると報告された。これを受けて議長より社員総会開会宣言された。

次に議事録署名人を指名するにあたり議長が議場に諮ったところ、執行部一任との意見を受けて札幌歯科技工士会　東真人代議員、函館歯科技工士会　南部知寛代議員を指名された。

議事運営委員会委員長の清水寛氏より議事進行に関しての説明報告がされ、円滑に議事が進むよう協力要請があった。

その後、藤王常務理事により今年度の物故会員に対して黙祷を捧げた。

扇会長より、今社員総会を開催にあたりコロナウイルスが第５類に変更になり社会情勢も変化しつつある中、我々がしていかなければならないことをしっかりと見極めながら医療従事者としての責務を果たし、この業界の発展に尽力していきたい。そして代議員の皆様と対面で行う本社員総会において忌憚のない意見をお願いし、実りある会議にしたいと挨拶された。

一般会務報告にうつり、廣田専務理事より会務報告があった。

議案に入り、廣田専務理事より「第１号議案　2022年度事業経過報告承認の件」が上程され、資料に沿って報告された。併せて「第２号議案　2022年度会計収支決算承認の件」の上程を廣田専務理事より資料を参照し当期における決算報告をされた。続いて山本英樹監事より監事監査報告が行われた。第１号議案・第２号議案ともに質疑応答はなく、出席代議員26名および委任状提出代議員（賛成２名）をもち全会一致で承認された。

その後、日技生涯研単位取得者の発表があり、西川副会長から清水寛氏（代表）に日技生涯研修修了証に授与された。

報告事項にうつり、執行部より本資料および補助資料での報告説明がおこなわれた。

個人事業主である一人親方でも労災保険の加入、会館修繕に伴う報告、次年度の学術研修会の日程・講師選定について各担当から報告された。

廣田専務理事より定款第６章、第28条を示し、川端忠範監事をのぞく理事および監事の任期満了に伴い、第３号議案「理事および監事選任の件」を上程した。これを受け議長は道技役員選挙管理委員会に議場の進行を委ねた。選挙管理委員会委員長　大江健一氏から道技役員選挙における選挙経過報告と投票について説明された。理事11名、扇照幾、長口睦好、西川圭吾、廣田高志、藤王千春、政氏勲、村上珠緒、若林侑輝、石井友和、佐々木英世、長嶋周一。監事２名、山本英樹、簑谷秀之の立候補を受理した旨を報告した。役員選挙規程第６条の適用により、候補者全員の当選を決定した。出席代議員26名および委任状提出代議員２名をもち全会一致で承認された。

以上すべての審議を終え、議長より議事日程がすべて滞りなく終了されたとし、閉会宣言がされ第10回社員総会が終了した。

第 164 回北海道歯科技工学術研修会 On Stage Report　前編

札幌歯科技工士会　三浦　知也

はじめに

共に北海道の地で歯科医療に一意奮闘されている皆さま初めまして。株式会社プライムデンタル所属の三浦知也です。

2023年１月21日に苫小牧で開催された第164回北海道歯科技工学術研修会に登壇させて頂く機会を与えて頂きました。

ようやくコロナ禍の期間を経て、久々に対面で開催する研修会を企画・運営してくださった北海道歯科技工士会ならびに苫小牧歯科技工士会の皆さま、感謝申し上げます。又、来場された会員・未入会員の皆さまと学び合える場を共につくって頂き、ありがとうございました。

日々のラボ運営の根幹の１つである、臨床caseにおいては、理想と現実が混在しつつも、ドクターの指示に基づき試行錯誤しながら、時にはラボサイドの提案を通して補綴装置をチェアーサイド（患者）に届けていると思います。

皆さんが試行錯誤したことは必ずしも同じとは限りませんが、私たち（弊社）が日々の経営活動を通して、挑み試みていることを講演させて頂きました。共感してくれた方や技工魂が熱くなったなど身に余る言葉を受け、私自身皆さんと共に邁進していきたいと強く感じられる機会になりました。

登壇テーマは、「患者にとって最適な補綴治療・補綴装置を目指して」と題し、「組織力を集結して臨むことの価値」と「専門性を磨きつくる意義」の二大要素を軸に述べました。

今回のレポートは研修会で述べた臨場感を少しでも共有したいので、講演時と同様のテーマ・二大要素を軸として前編/後編に分けて綴ります。

手法はPicture Albumを用いて多くのスライドを供覧します。

Fig. 1　オープニングテーマ

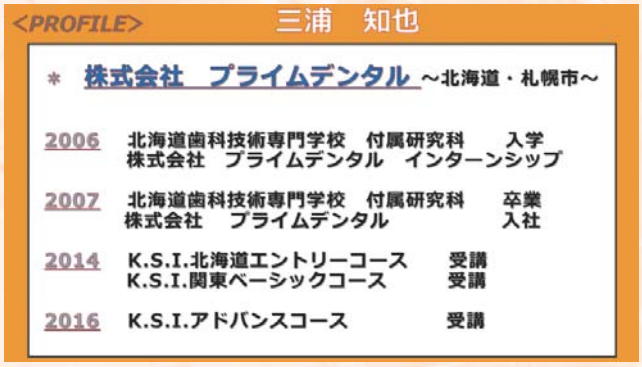

Fig. 2　自己紹介

Fig. 3　弊社の拠り所

Fig. 4　弊社の強み

Fig. 5　営業チーム

Fig. 6　事務・管理チーム

Fig. 7　生産現場チーム

Fig. 8　維持加工チーム

Fig, 9　形態加工チーム

Fig,10　デジタルソリューションチーム

Fig,11　経営チーム

前編まとめ

毎日の朝礼で唱和している経営理念をはじめ、弊社のStrong pointや挑み続けるために必要不可欠な最高の仲間を紹介してきました。次号の後編では仲間と挑む機能する補綴装置を届けるために重要な知識やcase presentationを供覧します。

＊2023年４月に日技認定講師に認定されました。北海道歯科技工士会の皆さまはじめ多くの皆さまのお陰様です。心より感謝申し上げます。

地域歯科技工士会の会員数減少

空知歯科技工士会　会長　上野　達治

５月８日から新型コロナウイルスが感染症法上２類から５類へ移行して行動、イベントなど以前に戻りつつあり喜ばしいことでありますが、歯科技工士会を取り巻く環境はあまりよくない現状であり、なかでも会員数の減少が問題で、新しい人が入って来なく、会員が高齢になって辞めていく。それにプラスして毎年自分の意志で辞めていく人がいます。

自分の空知歯科技工士会でも会員数が少なく問題になっています。

会員数は18人ほどいますが常時、会に参加する人は12～３人ぐらいで内60才以上の人が７～８人います。あと5～6年も経てばこの人たちがいなくなり、どのくらいの会員が残るのか、その時会をどのように運営していけばよいのか、少ない人数で会務を行うことができるか今から心配になってきます。

この問題の打開策は会員数を増やすことなのですが、中々うまくいかないのが現状であり、これから先どのようにして人数を増やせばよいのか頭の痛いところです。でもこれに対しては地道に向き合っていかないといけないということで、でなければ早々に解決している問題ですね。

早急の解決策はないですが歯科技工士会は無くすわけにはいかないし、全国の歯科技工士のために働いてくれいている会です。ここは踏ん張って何とかしていくしかないと思うのです。

歯科技工士の皆さんのご協力を切に願います。

令和４年度 北海道歯科技工士会 優秀学生表彰コメント

札幌歯科学院専門学校　歯科技工士科２年
50期生　井川　知士　さん

この度は、優秀学生という素晴らしい賞を頂き大変嬉しく思います。これまで頑張ってくることができたのも御指導くださった先生方や支えてくれた家族のおかげです。今後も努力を惜しまず自己研鑽に励みます。

吉田学園医療歯科専門学校　歯科技工学科
13期生　野澤　優奈　さん

この度はこのような賞を頂き誠にありがとうございます。
２年間の努力が形となってとても嬉しく思っております。
賞をいただけたのは、先生方の教えや家庭での暖かい環境のおかげです。満足せず今後も精進したいと思います。

北海道歯科技術専門学校
竹山　心結　さん

この度は、栄誉ある賞をいただき誠に光栄に存じます。この賞はわたし一人の力ではなく、ここまで支えてくださった両親や先生方のお陰だと思っております。改めて感謝申し上げます。今後は、この賞を励みに歯科技工士として、一人でも多くの患者様のお役に立てるよう様々なことに挑戦して、研鑽を積んで参ります。

その時々の立場で

空知歯科技工士会　戸島　和之

今年５月21日を以って16年間務めさせていただきました公益社団法人北海道歯科技工士会の理事を退任いたしました。

歯科技工士学校を卒業後40年間、その時々の立場で歯科技工士会に携わってきました。地域会員の頃はまだ歯科技工士会の何たるかも解らず、年に数回催される行事に参加できることが楽しくて、勤務先の上司に誘われるまま参加していました。会費を負担していただいたこともありメリットなどということは考えもせず、ただここにいれば「歯科技工士として孤立することのない居心地の良い場所」だと感じていました。一会員として、今でもそれが一番のメリットだと思っています。

支部役員として、当時道技はまだ公益社団法人ではなく北海道歯科技工士会空知支部という呼び方をしていましたが、地域でも未入会の方は殆んどいなく、自分が体験していた、歯科技工士の仲間として居心地の良い場所を創る事、維持する事を考えていました。まだまだ職業としての歯科技工士の環境というところまで視点を向けられずにいました。

支部会長になり、勤務者、自営者がそれぞれ何を歯科技工士会に求めているかを知り、この時初めて歯科技工士会のメリットを考える様になりました。地域の代表として、会員一人一人のために何が必要かを上部組織である道技へしっかり伝えることが仕事だと思っていました。後に要望だけではなく、きちんとした根拠に基づく提案をする事も大事であることを学びましたが…

北海道歯科技工士会の理事に就いて歯科技工士会の仕事と役割を考える様になりました。日技、道技の仕事それはグランドデザインだと思います。今年退任された公益社団法人日本歯科技工士会前会長杉岡範明氏が「この職業を社会にもっと評価されるものにしなければ」そして「次の世代が少しでも歯科技工士になって良かったと思える

ようにしよう」という信念をもって日技会長としての職責を果たして来られたことはご承知の通りです。法律や制度を変えて歯科技工士の働く環境を改善するために、何をどう配置したら会員一人一人の理想を現実に近づけられるか、そこを考え実践することが道技、日技の役割だと思います。もちろん、提供された情報や制度をきちん活用するのは会員自身の仕事です。

法律や制度を変えるという事は時間のかかる仕事です。昭和30年の「歯科技工法交付」に始まり知事から大臣免許への変更、全国統一国家試験等、60年以上の歳月がかかりましたが、歯科技工士会が存在したからこそ確実に行われた制度改革です。近い将来「歯科技工士って昔は一つひとつ手で作る技術者で国家資格が必要だったんだよねー」と云うことにならないように歯科技工士会を会員一人一人で大事にしていきたいですね。

最後に、一会員になったからこそ言える一言を言わせて下さい。「道技や地域歯科技工士会の役員をやるのは、好きだからだよね！」と思っている人もいるかもしれませんが、とんでもない話で、役員の皆さんは催事ごとに数か月前から資料などの準備をして、催事当日は午後からの開催に朝早くから会場等の準備に入ります。地方の役員の方は前日入りです。しかも手弁当で！そして参加者を「お疲れ様です。」とお迎えしています。「ご苦労様です」ではなく「お疲れ様です。」この意味皆さん分かりますか？好きだけじゃできない仕事だと思います。会員一人一人のためにと自分たちの誇りをもって頑張っています。今度、何かの催事で一生懸命働いている役員を見かけたら、皆さんからも「お疲れ様！」の一言をお願い致します。

公益社団法人 北海道歯科技工士会 役員紹介

質問事項

①氏名
②勤務先名
③地域組織名
④出身校
⑤好きな言葉（座右の銘）
⑥抱負を一言

会長
統轄

①扇照　幾（オオギ　テルノリ）
②岩見沢歯科技工士会
③ OAK DENTAL STUDIO
④東北歯科専門学校
⑤有志竟成
⑥精一杯、今の自分がやりたい事を丁寧に行動する。

副会長
総務・財務・広報・組織

①長口　睦好（チョウグチ　ムツコ）
②釧路歯科技工士会
③医療法人社団宣真会　福井歯科医院
④北海道歯科技術専門学校 23 期
⑤吾唯足知
⑥女性としての感覚を生かしつつ、会務遂行していきたいと思います

副会長
組織・法規・受託歯科技工

①西川　圭吾（ニシカワ　ケイゴ）
②釧路歯科技工士会
③（有）テクニカル　アンド　アートサプライ
④北海道歯科技術専門学校
⑤一念天に通ず
⑥地域歯科技工士会と北海道歯科技工士会のネットワークを充実させ、会員の皆様の声を具現化できるよう努力いたします。

副会長
生涯・研学術・障がい研・組織

①政氏　勲（マサウジ　イサオ）
②札幌歯科技工士会
③株式会社松風札幌営業所
④札幌歯科学院専門学校
⑤常在戦場
⑥組織発展の為に尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

専務理事
事務局総括

①廣田　高志（ヒロタ　タカシ）
②札幌歯科技工士会
③有限会社　コア・ブレーン
④北海道歯科技術専門学校
⑤誠心誠意
⑥組織発展のために尽力いたしますのでよろしくお願いいたします。

常務理事
総務・法規・受託歯科技工

①藤王　千春（フジオウ　チハル）
②十勝歯科技工士会
③医療法人社団　いのうえ歯科医院
④北海道歯科技術専門学校 7 期
⑤七転び八起き
⑥歯科技工士の働き方、職域を広めるために次世代に繋げていきたいと思います。

常務理事
生涯研・広報

①村上　珠緒（ムラカミ　タマオ）
②札幌歯科学院専門学校
③札幌歯科技工士会
④札幌歯科学院専門学校
⑤願えば叶う
⑥3期目となりますが、歯科技工士という職業がより魅力に溢れるよう会務に邁進する所存です。

常務理事
生涯研修・
就労対策

①若林　侑輝（ワカバヤシユウキ）
②札幌歯科技工士会
③北海道大学病院 生体技工部
④広島大学
⑤笑う門には福来る
⑥若輩者ではありますが、一生懸命頑張りたいと思っています。

常務理事
財務・法規

①佐々木　英世（ササキ　ヒデヨ）
②札幌歯科技工士会
③吉田学園医療歯科専門学校
④旭川歯科学院専門学校
⑤座右の銘：至誠一貫
⑥歯科技工を通じて、社会に貢献できるよう努めてまいります。

常務理事
生涯研・学術・
受託歯科技工

①石井　友和（イシイ　トモカズ）
②札幌歯科技工士会
③北海道医療大学歯科クリニック
④旭川歯科学院専門学校
⑤継続は力なり
⑥技工業界発展のために微力ではありますが、精一杯取り組ませていただきます。

理事
生涯研・
障がい研・
就労対策

①長嶋　周一（ナガシマ　シュウイチ）
②札幌歯科技工士会
③和田精密歯研株式会社　札幌センター
④新潟大学付属歯科技工士学校
⑤なんとかなる
⑥精一杯頑張ります。

監事

①山本　英樹（ヤマモト　ヒデキ）
②空知歯科技工士会
③合同会社デンタルスタジオフィット
④北海道歯科技術専門学校 3 期生
⑤和を以て貴しとなす
⑥会務も趣味もマイペースで頑張ります。

監事

①簑谷　秀之（ミノヤ　ヒデユキ）
②札幌歯科技工士会
③デンターテクノ
④札幌歯科学院専門学校
⑤元気があれば何でもできる！
⑥微力ながら、会務に協力させて頂く所存でございますのでよろしくお願い致します。

相談役

①八重樫　新一（ヤエガシ　シンイチ）
②札幌歯科技工士会
③ヤエガシデンタルトピア
④札幌歯科学院専門学校
⑤七転び八起き
⑥目的を持ち皆が共有し、一体化して未来を切り開く。

顧問

①嘉村　正（カムラ　タダシ）
②北見歯科技工士会
③株式会社札幌デンタルラボラトリー
オホーツク CAD ー CAM センター
④東邦歯科技工専門学校　11 期卒
⑤良いところだけの者もいないが、悪いところだけの者もいない
⑥法規関連なら助言ができます。

事務長

①北條　弥生　（ホウジョウ　ヤヨイ）
⑥道技会館にお電話いただくと、事務長である北條が対応いたします。会ったことがない方でも声は聞いたことがあるのでは？お仕事は完璧ペキ子ですが、シャイなので写真はアイコンで失礼します。

歯科技工における手話表現・見える言葉

札幌歯科技工士会　工藤　三重子

新年度に入り、北海道デフ歯科技工士協議会主催の歯科用語手話研修会は５月より開始されました。今年度も 10 回開催を計画しています。

今回は、最近、歯科技工の研修会でもよく目にするようになった「デジタルトランスフォーメーション」、「IOS」、「エビデンス」です。手話表現はどうなのか以下調べて見ました。

（手話表現は日本手話言語研究所「新しい手話の動画サイト」www.newsigns.jp 参照）

デジタルトランスフォーメーション		IOS		エビデンス
口形：でじたる とらんすふぉーめーしょん		あい・おー・えす		えびでんす
片手人差し指「１」、片手で丸「０」を作り、交互に二回、（肩たたきの様な動き） 手話：デジタル	両手掌の内側に向かい合わせにし距離を保ったまま大きく水平方向に回す。 手話：変化・変換	左掌を右人差し指で二回はじく。 （スマホのフリック動作） 手話：スマホ	右手小指「Ｉ」立てた状態でＳを空書 ※参考：指文字「い」はアルファベットの「Ｉ」	掌を上に向け、片手全指先曲げた状態で乗せる。 手話：証拠

2023 年度北海道デフ歯科技工士協議会主催歯科技工用語手話研修会について、第４回は８月 19 日、19 時～ 20 時 30 分。札幌市西区二十四軒２条６丁目１－１札幌市身体障害者福祉センター一階研修室で行います。参加または見学される方は事前連絡をお願い致します。その他にオンラインで日曜日 19 時より「歯の手話フリートーク」を希望者で行っています。詳しくは北海道歯科技工士会にお問い合わせください。

お 知 ら せ

新型コロナウイルス感染症について

公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、情報を適宜掲示しています。 https://dougi.or.jp

北海道歯科技工士会メーリングリスト登録について

公益社団法人北海道歯科技工士会は、メーリングリスト構築並びにウェブを使ったセミナーを開催しております。まだ登録をされていない方は、公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、登録をお願いいたします。 https://dougi.or.jp

公益社団法人北海道歯科技工士会 Twitter(ツイッター)公式アカウント開設について

公益社団法人北海道歯科技工士会は、Twitter（ツイッター）公式アカウントを開設いたしました。本会に関わる情報を発信していきます。最新の研修会案内も投稿します。是非、Twitter をインストールしていただき北海道歯科技工士会のフォローをお願い致します。

学術論文の募集について

公益社団法人北海道歯科技工士会は、歯科技工技能水準の向上と安全で安心な歯科補てつ物等の提供等により道民の健康増進に寄与するための公益事業として「学術優秀論文表彰」を行っております。 下記のとおり「学術論文の募集」を行いますのでご応募下さい。

■目　　的：歯科技工士ならびに歯科技工士学生の学術研鑽意欲の向上を図る目的で、応募のあった中から最優秀論文を選考し表彰する。

■対　　象：北海道で就労している全ての歯科技工士および北海道内の歯科技工士養成機関の本科学生および専攻科等の学生。

■論文内容：歯科技工技術知見に係わる全般で、文字数および図表等の枚数に制限はありません。

■募集期間：2023年１月～2023年12月まで。

■選考方法：応募期間中に寄せられた論文は、外部選考委員も含めた３名の選考委員によって最優秀論文を選考、決定します。

■副　　賞：最優秀論文受賞者には、さらなる学術研鑽を積まれるように副賞を授与します。

■選考委員

【外部選考委員】 北海道大学大学院 歯学研究科 横山 敦郎 教授
北海道医療大学 歯学部 越野 寿 教授

【内部選考委員】 公益社団法人北海道歯科技工士会 扇 照幾 会長

■お問い合せ先：公益社団法人北海道歯科技工士会　事務局

〒001-0037札幌市北区北37条西４丁目３－８
TEL（011）717-7155　　FAX（011）717-6954
e-mail　dougi@abelia.ocn.ne.jp

理　事　会　報　告

2022年度　第７回理事会議事録

日　時　　2023年１月28日（土）　18：00～19：00
場　所　　北海道歯科技工士会館

１　会長挨拶

今年はじめての理事会という事もあり、新年を迎えての挨拶をされた。ここ数日間は道内のコロナ感染者数は、前の週の同じ曜日を下回り減少している。報道によると新型コロナ感染症法上の位置づけが、現在の「２類相当」から５月あたりに「５類相当」に移行する見通しの様だ。本会の事業も状況を鑑みて適時対応していきたい。また、今冬は、冷え込んでいるため健康に気をつけていただき、万全の体制で会務を行なっていただきたいと挨拶された。

２　承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・【承認】
入会者及び退会者承認の件・・・・・・・【承認】

３　報告・協議事項

（１）全般
　ア　第10回社員総会を５月20日とし対面形式で開催する予定について協議。
　イ　2022年度各部事業報告（案）について報告。
　ウ　2023年度各部事業計画（案）について報告。
（２）生涯研修
　ア　第164回北海道歯科技工学術研修会（苫小牧）（2023年１月21日開催）について報告。
　イ　第164回北海道歯科技工学術研修会決算書（案）について報告。
（３）広報
　ア　ホームページの更新について報告。
　イ　道歯技広報27号のレイアウトについて報告。
　ウ　道技Twitterの更新について報告。
　エ　ホームページのトップページにバナーを設置することについて報告。
（４）総務
　ア　2022年度第６回理事会議事録について報告。
　イ　2022年度優秀学生表彰該当者推薦名簿について推薦依頼を道内３校の歯科技工士養成校に発翰したと報告。
　　副賞をギフトカードとし広報誌に記念写真を掲載することを承認。
　ウ　離島派遣事業について報告。
（５）財務
　１月期の執行状況について報告。
（６）就労対策
　ア　１月末組織現状表について報告。
　イ　2022年ＬＩＬＡＣについて報告。
　ウ　学校訪問説明会について詳細の報告があり大久保･若林理事を派遣役員とするとの報告。
（７）その他
　ア　北海道作業療法学会名義後援依頼について報告。
　イ　日技2022年度俊秀学生表彰について報告。
　ウ　日技2023年１月の歯科用貴金属材料価格随時改定について報告。
　エ　日技「感染症予防講習会」開催意向の確認について報告。

2022年度　第８回理事会議事録

日　時　　2023年３月４日（土）　18：00～19：00

１　会長挨拶

新型コロナ感染症法上の位置づけが５月頃には「５類相当」に移行する見通しであると報道されている。言うまでもなく本会の主務官庁は道庁で、なおかつ医療職団体という位置づけもある事から、感染症対策をとりながら事業が行なわれなくてはいけない。その一方で各担当部署には、コロナ感染症が収束を迎えた事を想定し、段階的な調整も検討しながら事業を進めていけるよう検討をしてほしい。また今回の理事会は年度末ということもあり社員総会に提出する事業報告の確認を行いたいと挨拶があった。

２　承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・・・・【承認】
第10回社員総会日程および議案承認の件・・・・【承認】
2023年度各部事業計画（案）承認の件・・・・・【承認】
2023年度会計収支予算（案）承認の件・・・・・【承認】
入会者及び退会者承認の件・・・・・・・・・・【承認】

３　報告・協議事項

（１）全般
　ア　第10回社員総会議事日程（2023年５月20日）について報告。
　イ　第10回社員総会資料について報告。
　ウ　2022年度各部事業報告について報告。
（２）広報
　ア　ホームページの更新について報告。
　イ　道歯技広報28号（2023 夏）について報告。
　ウ　道技Twitterの投稿状況について報告。
（３）総務
　ア　2022年度第７回理事会議事録について報告。
　イ　2022年度優秀学生表彰該当者について報告。
　ウ　2022年度第３班事業報告と2023年度離島派遣事業日程（案）について報告。
（４）財務
　２月期の執行状況について報告。
（５）法規
　道技代議員選挙について報告。
（６）就労対策
　ア　２月末組織現況について報告。
　イ　学校訪問説明会について報告。
（７）その他
　ア　日本歯科技工士会理事会議事録について報告。
　イ　マスク着用の考え方の見直し等について説明があり、令和５年３月15日以降の対応について報告。
　ウ　対面会議開催時等における当面のマスク着用と、日本歯科技工士会の方針について報告。
　エ　都道府県災害歯科保健医療連絡協議会設置への協力依頼について報告。

2023年度　第１回理事会議事録

日　時　　2023年４月15日（土）　16：00～18：00
場　所　　北海道歯科技工士会館

１　会長挨拶

本日は今執行部として最後の理事会になりました。これまで役員の皆様には色々な事情がある中で多くの時間を会務に当てていただき感謝しております。考えてみれば本会の事業計画案は役員の未来に起きる事象とかモチベーションを一切考慮していない計画です。役員も一人間であり、健康面等を含め万全な体制で会務運営ができるというのは簡単なことではありません。

しかしながら、新型コロナによるクラスターを発生させることなく、ここまで過ごせたことは役員皆様の成果であると思います。新型コロナ感染症法上が５類への引き下げに伴い、新型インフルエンザ等対策特別措置法の対象ではなくなるため、政府や都道府県の対策本部は廃止されます。政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」も廃止されます。

５月に予定している社員総会は対面で開催いたしますので、最後まで医療職団体として気を抜かずに対応したいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。と挨拶された。

２　承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・【承認】
2022年度会計収支決算承認の件・・・・・【承認】
入会者及び退会者承認の件・・・・・・・【承認】

３　報告・協議事項

（１）全般
　ア　第10回社員総会議事日程（2023年５月20日）について報告。
　イ　第10回社員総会補助資料について報告。
（２）広報
　ア　ホームページの更新について報告。
　イ　道歯技広報28号（2023 夏）について報告。
　ウ　道技Twitterの投稿状況について報告。
（３）総務
　ア　2022年度第８回理事会議事録について報告。
　イ　観桜会開催中止について報告。
　ウ　2023年度離島派遣事業について報告。
　エ　公益info申請について報告。
（４）財務
　３月期の執行状況について報告。
（５）法規
　第２回道技役員選挙管理委員会について報告。
（６）就労対策
　ア　３月末組織現況について報告。
　イ　学校訪問説明会について報告。
（７）その他
　ア　日技2023年４月の歯科用貴金属価格の随時改定について報告。
　イ　日技JDATロゴマークの募集について報告。
　ウ　日技准終身会員申請手続きについて報告。
　エ　道庁2022年度歯科技工士研修事業実績報告に係る調査について報告。

２０２３年度　第２回理事会議事

日　時　　2023年５月20日（土）15：30～16：00
場　所　　北海道歯科技工士会館
１　理事総数および定足数　総数13名、定足数10名
２　出席理事数　11名
　（出席理事）扇照幾、廣田高志、長口睦好、西川圭吾、政氏勲、藤王千春、村上珠緒、若林侑輝、佐々木英世、石井友和、長嶋周一
　（出席監事）山本英樹、簑谷秀之
３　議題
　決議事項
　「代表理事選定」の件
　議事の経過及びその結果
（１）定足数の確認等
　廣田高志理事が定足数を確認し、議事進行について説明があった。
（２）議案の審議状況及び議決結果等
　議長扇照幾理事
　議事録署名人を出席理事及び出席監事全員とし審議に移った。
　決議事項
　「代表理事選定」の件
　監事山本英樹は選ばれて議長となり、当法人の代表理事を選定したい旨を述べた。長口睦好理事より、扇照幾理事を代表理事に選定したい旨の提案があり、慎重に協議した結果、全員一致をもって次の通り選定した。扇照幾理事は席上その就任を承諾した。
　「業務執行理事選定」の件
　扇照幾代表理事から、
　長口睦好理事、西川圭吾理事、政氏勲理事を副会長、
　廣田高志理事を専務理事、
　藤王千春理事、村上珠緒理事、石井友和理事、若林侑輝理事、佐々木英世理事を常務理事に選定したい旨の提案があり、慎重協議した結果、全員一致をもって次の通り選定した。
　また、全員がその就任を承諾した。

　副 会 長　長口睦好、西川圭吾、政氏勲
　専務理事　廣田高志
　常務理事　藤王千春、村上珠緒、石井友和、若林侑輝、佐々木英世
　理　　事　長嶋周一

以上をもって、2023年度第２回理事会を閉会した。

公益社団法人　北海道歯科技工士会
活動・会員特典紹介

講習会・研修会の開催

厚生労働省後援の「歯科技工士生涯研修認定」学術大会（年1回）学術研修会（年3回）をはじめ、実技研修会・各セミナーを開催しています。
（Webによるハイブリッド開催も多数行っています。）
会員は基本受講料1,000円で参加できます。
（卒後3年以内の会員は無料）

情報提供

日本歯科技工士会が発行する「日本歯技」（毎月）のほかに北海道歯科技工士会が「道歯技広報」（年3回）を発行しています。
歯科技工に関わる最新の情報をホームページの会員限定ページやTwitterにて、随時、情報発信しています。

歯科技工士仲間や関係団体との交流

各地域歯科技工士会において、地域歯科医師会・歯科衛生士会との共同行事や歯の健康週間をはじめとする市民貢献イベント等、様々な行事やボウリング大会・ゴルフ大会等、レクレーションが行われています。

厚生労働省や関連団体との交渉窓口

歯科技工業界のさまざまな問題を交渉し、歯科技工の職業・生活水準向上のため、全力で取り組んでいます。また、診療報酬改定などの情報をタイムリーに発信しています。

慶弔制度の充実

長寿祝金・出生祝金・死亡弔慰金・高度障害見舞金・火災見舞金・災害見舞金など慶弔制度が充実しています。

お近くに、まだ未入会の歯科技工士の方がいらっしゃいましたら是非ご案内ください。

ホームページ　https://dougi.or.jp

Twitter公式アカウントのフォローお願いします。

公益社団法人
北海道歯科技工士会
Hokkaido Dental Technologists Association

道歯技広報　2023Summer No.28(292)
発行／令和５年８月９日　発行所／公益社団法人　北海道歯科技工士会　〒001-0037　札幌市北区北37条西４丁目３-８　ＴＥＬ　011（717）7155
発行人／扇　照幾　編集人／村上　珠緒　印刷／橋谷印刷